

報道機関各位

 文化財課 市史編さん担当
 (赤穂義士会事務局)

 タイトル 令和5年度赤穂義士会講演会の開催について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	令和5年度 赤穂義士会講演会
日時	令和5年12月9日(土) 午後1時30分～午後3時
場所・住所	赤穂市民会館 2階 中会議室
趣旨・目的 (PRしたいこと)	<p>赤穂義士会では、毎年度忠臣蔵に関する著述をしている研究者・作家等を招き、忠臣蔵の普及啓発を目的として講演会を開催している。</p> <p>1. 講師 春日太一氏 (時代劇研究家)</p> <p>2. 演題 「映画会社やテレビ局はなぜ『忠臣蔵』を作らなくなったのか」</p> <p>3. 聴講料 無料</p> <p>4. 定員 100名 (先着順、事前申込制、定員になり次第締め切り)</p> <p>5. 申込方法 (1)義士会事務局へ電話にて申込み (氏名・住所・電話番号) (2)義士会事務局・各公民館備え付けのチラシの参加申込書に必要な事項記入のうえ、義士会事務局へ①持参、②ファックス、③郵送</p> <p>6. その他 ・当日はマスク着用、手指の消毒を推奨 ・春日氏著書の販売、講演後サイン会を行う</p> <p>7. 関連行事 赤穂市立図書館 特集展示「時代劇と忠臣蔵」(12/1～17) 時代劇に関する研究・評論、映像化された忠臣蔵原作本など</p>
問い合わせ先	部課係名：教育委員会文化財課市史編さん担当 (義士会事務局) 担当者名：小野 電話：43-6848 内線 () FAX：43-6848

○添付資料 (有) 無) ○ホームページへの掲載 (有) 無) ○議会報告 (有) 無)

令和5年度赤穂義士会講演会 開催要領

赤穂義士会では、毎年度忠臣蔵に関する著述をしている研究者・作家等を招き、忠臣蔵の普及啓発を目的として講演会を開催している。令和5年度は、『忠臣蔵入門』『大河ドラマの黄金時代』などの著作のある時代劇研究家の春日太一氏を講師に招き、下記要領により実施する。

1. 日 時 令和5年12月 9日（土） 午後1時30分～午後3時
2. 会 場 赤穂市民会館 2階 中会議室
3. 講 師 かすが たいいち 春日太一氏（時代劇研究家）
4. 演 題 「映画会社やテレビ局はなぜ『忠臣蔵』を作らなくなったのか」
5. 要 旨 かつて、オールスターキャストが顔を揃えた『忠臣蔵』は、映画やテレビにおける年末年始の風物詩でした。ところが、近年になって全く作られなくなってきています。そのことは、『忠臣蔵』の基礎教養についての世代間の断絶を生む要因にもなっています。
そこで、忠臣蔵が作られなくなった理由について映像業界側の事情を、そもそも「なぜ『忠臣蔵』は作られていたのか」という点から検証し、解き明かしていきます。
6. 聴 講 料 無 料
7. 定 員 100名（先着順、事前申込制、定員になり次第締め切り）
8. 申込方法 （1）義士会事務局へ電話にて申込み（氏名・住所・電話番号）
（2）義士会事務局・各公民館備え付けのチラシの参加申込書に必要事項記入のうえ、義士会事務局へ①持参、②ファックス、③郵送
9. そ の 他 ・当日はマスク着用、手指の消毒を推奨する。
・著書の販売、講演後サイン会を行う。
10. 主 催 赤穂義士会（事務局：赤穂市教育委員会文化財課市史編さん担当）
赤穂市加里屋中洲3-56 〒678-0233 TEL/FAX 0791-43-6848

（講師プロフィール）

時代劇研究家。1977年、東京都出身。日本大学大学院博士後期課程修了（芸術学博士）。実際の制作者たちへの取材と作品検証を通じて、時代劇や映画・テレビドラマの表現がいかに変遷していったのかについて研究している。著書は『天才勝新太郎』『あかんやつら 東映京都撮影所血風録』『仲代達矢が語る日本映画黄金時代』（以上、文藝春秋）、『時代劇入門』『忠臣蔵入門』（以上、角川新書）など多数。『週刊文春』でコラム「春日太一の木曜邦画劇場」連載中。

令和5年度

赤穂義士会講演会のお知らせ

赤穂義士会では、毎年度忠臣蔵に関する著述をしている研究者・作家等を招き、忠臣蔵の普及啓発を目的として講演会を開催しています。令和5年度は、『忠臣蔵入門』『大河ドラマの黄金時代』などの著作のある時代劇研究家の春日太一氏をお招きして、下記のとおり実施いたします。多数のご来場をお待ちしています。



- 日 時 令和5年12月9日(土)
午後1時30分～午後3時
- 会 場 赤穂市民会館 2階 中会議室
- 講 師 かす が た いち
春日太一氏(時代劇研究家)

- 演 題 「映画会社やテレビ局はなぜ『忠臣蔵』を作らなくなったのか」
かつて、オールスターキャストが顔を揃えた『忠臣蔵』は、映画やテレビにおける年末年始の風物詩でした。ところが、近年になって全く作られなくなってきています。そのことは、『忠臣蔵』の基礎教養についての世代間の断絶を生む要因にもなっています。そこで、忠臣蔵が作られなくなった理由について映像業界側の事情を、そもそも「なぜ『忠臣蔵』は作られていたのか」という点から検証し、解き明かしていきます。

- 聴講料 無 料 ※著書の販売、講演後サイン会もあります！
- 定 員 100名(先着順、事前申込制) ※定員になり次第締め切り
- 申込み方法 下記のいずれかでお申し込みください。
 1. 義士会事務局(市史編さん室)へ電話にて申込み(氏名・住所・電話番号をお知らせください)
 2. 義士会事務局(市史編さん室)・各公民館に備えつけてあるチラシの申込書に必要事項記入のうえ、義士会事務局(市史編さん室)へ①持参、②ファックス、③郵送

- その他 当日は、マスク着用、手指の消毒を推奨します。
- 関連行事 赤穂市立図書館 特集展示「時代劇と忠臣蔵」(12/1[金]～17[日])
時代劇に関する研究・評論、映像化された忠臣蔵の原作本を特集します(問43-0275)

問い合わせ先 赤穂義士会事務局(赤穂市教育委員会 市史編さん室)
赤穂市加里屋中洲3-56 〒678-0233 TEL/FAX 0791-43-6848

.....キリトリセン.....

令和5年度赤穂義士会講演会 参加申込書 受付番号()

氏 名	電話番号
住 所	